

思考力や表現力を働かせて読もう 補助資料「文学的な文章の特徴」

一年 組 番 )

学習日 月 日 )

文学的な文章を読むには…

1 場面・情景をとらえる

1 場面をとらえる  
場面とは

場面のとらえ方

文学的な文章の表現の特徴や表現の工夫は、ここに示した項目に注目してとらえよう！



小説や随筆に書かれていて、その場の状況や様子のこと。

- (1) 時は「いつか」をとらえる  
時代・年月・時刻を表す言葉に注目する。
- (2) 場所は「どこか」をとらえる  
場所を表す言葉に注目する。  
風景など場所の様子もとらえる。
- (3) 登場人物は「だれか」をとらえる  
どのような人物が登場し、主人公はだれかをとらえる。  
人物どうしはどのような関係にあるかをとらえる。
- (4) 出来事や事件の内容をとらえる  
人物の行動や会話、状況の変化などから、その場面で何が起きているかをとらえる。

2 情景をとらえる  
情景とは

情景のとらえ方

風景や場面の様子などを描写したもの。その場の雰囲気や人物の心情などが暗示されることが多い。

- (1) 比喩などの表現技法に注目する  
作者が何を何にたとえているのかを読み取ると、作者がその情景をどのようなものとして描きたいのかが分かる。
- (2) 擬態語・擬音語に注目する。
- (3) 視覚・聴覚に訴える表現に注目する  
色(視覚に訴える)・音(聴覚に訴える)
- (4) 人物の心情を表す言葉に注目する。  
人物の心情を表す言葉から、その場の情景を想像することができる。

2

心情・人物像をとらえる

1 心情のとらえ方

- (1) 直接心情を表す言葉に注目する。  
「うれしい」「悲しい」など。
- (2) 人物の言動を表す言葉に注目する。  
会話文や、人物の心の動きを描いた部分からとらえる。
- (3) 人物の態度や様子に注目する。  
人物の心情は態度や様子にも表れる。
- (4) 人間関係に注目する。  
会話や行動から、だれがだれをどう思っているかとらえる。
- (5) 心情が込められた情景描写に注目する。  
情景描写には、人物（特に語り手）の心情が反映されることがある。

2 人物像のとらえ方

- (1) 人物の言動・心情・考え方などに注目する。  
登場人物の言葉や行動、気持ちや考え方の分かる描写からとらえる。  
だれの言葉や行動なのか把握する。
- (2) 人物像は変化する場合があることに注意する。  
人物像の変化が主題と深くかかわっていることが多いので、その人物に関する描写の変化に注意しよう。

3

表現の特色と主題をとらえる

1 表現の特色のとらえかた

- (1) 文体の特色に注目する。  
文末表現は常体か、敬体か。  
文末表現は現在形か過去形か。  
一文の長さは長いか短いか。  
和語が多いか、漢語が多いかなど、どんな言葉が使われているか。
- (2) 表現技法に注目する。  
比喩（直喩・隠喩・擬人）法 印象を強める効果  
擬態語・擬音（声）語 印象を強める効果  
倒置法・反復法 強調する部分を示す効果  
省略法・体言止め 余韻を残したり、歯切れをよくしたりする効果

2 主題のとらえかた

- (1) 話の展開や事件の流れを押さえる
- (2) 行動や会話から心情をとらえる
- (3) 文種に応じて次の点をとらえる。  
小説…中心となる登場人物の心情の変化。  
随筆…筆者の感動の中心。

